



第138号
平成30年10月15日
発行:公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
編集:広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel:042-581-8171



会員数(人)
平成30年8月31日
計 1,693
男性 1,201
女性 492
8月入会者28
(男14、女14)
8月退会者13
(男7、女6)

今年度2回目の女性限定入会案内説明会

「女性同士は話しやすい」と大好評

小雨の降る9月26日(水)午前、女性限定入会案内説明会が日野市SC会議室で行なわれ、9人の方が参加されました。

同会では女性限定入会案内の趣旨説明、DVDによるSC事業紹介・概要説明に続き増子事務局長が日野SCの内容を説明、10分の休憩をはさんで女性委員会による就業体験談の披露及び親睦会に移りました。

人生二毛作の場の一つ、SC

女性限定入会案内説明会は一般の入会説明会にはない特徴があり、女性委員会が参加者に具体的な就業体験談を披露し、さらに自由な質疑応答の時間を設けています。当日も渋谷女性委員長が「日野市SC入会当初に受付の仕事につきましました。でも初めに説明された仕事内容とは異なる



入会案内説明会での質疑応答

る仕事をさせられることもあり戸惑った」ことなどを披露して参加者の関心を誘っていました。最後に「日野市SCに入会して様々な体験を通して得ることが多かった。(入会前の人生と入会後の人生を合わせて)人生二毛作ですね」と締めくくられた。

ある委員は、単発の仕事である

シルバーパス更新業務の説明後、「この仕事に6年間かかわり、その間にいろいろな人と交わることで、よって様々な経験をしました。良い勉強になっています」と。

質疑応答も活発に

その後2つのグループに分かれ、女性委員が各グループに数人ずつ入って自由な質疑応答に移りました。参加者の方からは、「具体的にどのような仕事があるのか、女性向きの仕事があるのか、その仕事の内容は、自分が現在持っているスキルをいかせる仕事であるのか、短期の仕事の内容は、カルチャー教室の講師になるには」など様々な質問が飛び交っていました。参加者同士も会話が弾み、説明会当初の固い表情から柔らかな表情に変化しているのが印象的でした。

親睦会(30分)のあと「入会受付面談日」の日程の説明が続きました。参加者9人のうち2人は親

睦会には都合が悪くて参加できませんでしたが、次回の説明会に参加するとおっしゃって帰られました。親睦会に参加された7人のうちひとりが入会受付をせずに帰り、残り6人は入会受付をなさいました。

参加者の方に、一般の説明会ではなく女性限定の入会案内説明会に参加した理由を聞いたところ、「女性限定だから」「女性向けの話が聞きたかった」との答えが返ってきました。また、今回の説明会については「大変満足している」「具体的な説明によりSCのことが良くわかってよかった」など。

当日の説明会場には女性委員会主催の講習会で制作された手芸品が展示され、参加者の興味を引いていました。

女性限定入会案内説明会での参加者の入会希望が多いのは、このようなきめ細かな対応が功を奏しているのではないのでしょうか。

共働・共助

配分金の支払日
10月19日(金)
11月20日(火)
12月20日(水)
1月18日(金)
2月20日(水)
3月20日(水)

再生紙を使用しています

全シ協 会員100万人計画

公益社団法人・全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)が全国のセンター会員数を100万人に増やす計画を打ち出し、各地のシルバー人材センター(SC)に協力を要請しています。

全シ協が新たに策定した「第2次会員100万人達成計画」によると、平成29年度末現在の全国会員数71万3746人を平成30年度から7年間(平成36年度末)で100万人に増やすことを目標にしています。中間目標として3年後に平成29年度末比約9万人増の80万人を目指し、その後の4年間で同約29万人増の100万人を達成する計画です。このため、会員数は前半3年間は毎年3・9%増、後半4年間は同5・8%増を目指します。

この計画に基づいて、都内のSCを束ねる東京都SC連合は各SCに7年間の目標会員数を目安として提示。それによると日野市SCは3年後に1801人、7年後は2254人という数字が目標になります(今年度9月末現在の当SC会員数は1688人)。

全シ協がこうした会員増強計画を掲げる背景には、全国のセンター会員数が平成21年度の79万1859人をピークに8年連続で減少し続け、会員不足のために仕事の依頼に応えられないSCが少なくないという実態が顕在化している現実があります。

少子高齢化の進展で働き手不足が深刻化し、社会のSCへの期待が高まっているにもかかわらず、SCの会員数が低迷している理由としては企業などの雇用延長のほか、ライバルの増加(高齢者の派遣や紹介をする民間企業等の増加、NPOや社会福祉団体など地域の支え手の拡大)などが指摘されています。全シ協は目標達成に向けてさまざまな提言をしながらも、会員増強というSCの変わらぬテーマは「正念場を迎えている」(村木太郎・全シ協専務理事)と危機感もにじませています。

女性会員500人、実は1ヵ月遅れ

「月刊さわやか」の前号(第137号)で、当SCの女性会員数が今年度9月1日現在で500人に到達したとお伝えしましたが、実際は8月の退会者が例年以上に多かったため、496人とどま

りました。

その後、10月1日付で新たに女性10人が入会し、9月の退会者を差し引いても同日でちょうど500人となりました。前号の記事が誤報となったことをお詫びいたします。

催しのお知らせ

■まちづくり市民フェア2018

日野市内の市民活動団体が一堂に会するフェアです。活動の展示と体験コーナーがあります。当SCも、リサイクル事務所と

工房クローバーが家具小物と手芸品を展示・販売し、広報委員会が広報活動をおこないます。

●会場 市民の森ふれあいホール・蚕糸公園

●日時 10月21日(日) 雨天実施
10時~15時(開場9時30分)

■日野ウオークフェスタ

10月27・28日、多摩川・浅川沿いを歩くウォーキングを日野市主催で行うイベント。日野市SCは

10月28日(日)に工房クローバーがブースで展示・販売するほか、リサイクル事務所が同日に開催するリサイクルフェアのチラシを配布します。

●場所 浅川スポーツ公園グラウンド

理事会ニュース

★第6回理事会 9月25日

- ・審議事項 正会員の入会(29人承認、10月1日29人入会)
- ・報告事項 平成30年度事業実績(4~8月分) 契約金額2億7154万円(前年度比2・0%増)

「センター行事日程」

- 10月21日 全地域班一斉清掃 各地域班
- 10月28日 リサイクルフェア 日野市SC
- 11月5日 女性会員交流会 多摩平の森ふれあい館
- 11月6日 第3回クリスマスリース作りIIオンモール (日老連との共同イベント)

「お知らせ」

安全管理委員会では後期職場安全巡回を11月から来年2月までの4か月間、11か所を2委員1組体制で順次行う予定です。

事務局職員人事異動

長谷川昂氏は10月1日付で日野市へ出向。これに伴い事務局の委員会担当者が次のように変更となりました。

- ・安全管理委員会 堀文耶氏
- ・広報委員会 生田宏造氏

布花コサーージュ講習会

女性委員会主催による市民対象のコサーージュ講習会が、委員を含めた参加者17名で、9月13日午後1時30分からSC会議室で開催されました。



この講習は、SC女性会員の増強とPR活動を目的とした毎年恒例のものです。2月の講習会では、フォーマルシーンを意識した作品を作りましたが、今回は、秋パージョンがテーマです。これから深まりゆく秋にぴったりの色使いと質感のある作品作りに挑戦しました。



熱心に創作する参加者の皆さん

員会から、センター入会案内を行い終了しました。

特徴ある新しい教室も！ いきいきカルチャー教室、盛会

当SCの「いきいきカルチャー教室」が10月からまた新たに始まりました。前期から継続を含め、24教室が半年間開講します。

このうち、新たに加わった教室が、「シルバーエイジの山歩き(以下、山歩きと略)」「一から学ぶはつらつ短歌教室」「あなたの旅がより楽しくなるく世界遺産の基礎知識(以下、世界遺産の旅と略)」「ゆうゆう絵画塾」「大人の絵画教室 水彩・油彩」の5教室です。このなかでも目先の変わった教室という視点で、登山のいろはを学ぶ「山歩き」と、世界遺産の知識を得て旅を楽しむ「世界遺産の旅」があげられます。講師お二人のコメントをご紹介します。

「登山は心身ともにリフレッシュできる健康的なスポーツですが、アウトドアゆえのリスクも。中高年になって山歩きを始めた(始めたい)初心者も、基本的な知識・技術をしっかり身に付け、自分の体力に応じたプランを立て、安全で充実したアウトドアライフを楽



太極拳初心者教室

しみましよう。」(西川敏明講師)

「世界遺産は人類の宝物です。これらを通して世界の歴史・伝統・建築、自然をはじめ環境問題、社会問題等も学ぶことができます。講義終了後に訪れる世界遺産は、あなたにとって、新たな発見や魅力に満ち溢れたものになるでしょう」(萩原卓講師)。

多彩な内容のいきいきカルチャー教室には、その他にも健康麻雀、着付け、そば打ち、やきもの、太極拳、世界遺産から学ぶ日本史、おとぎ話と歌で学ぶやさしい英語等々20余りのユニークな教室があります。ご家族や友人を誘い、会員の皆さんも受講を是非ご検討ください。講師も募集中です。

シルバーパス更新業務

毎年9月に実施される東京都シルバーパス一斉更新業務が無事終了しました。シルバーパス事業は「高齢者の社会参加を助長し、もって高齢者福祉の向上を図る」目的の東京都の事業で、都内のほとんどのSCが請負っています。昨年は9月のみで85万枚のパスの更新があり、今年も100万枚を超えると思われています。

対象者は都内在住で70歳以上の寝たきりでない者という条件で、様々な方が更新に来られます。当然、受付(審査)担当者の接客態度が求められ、東京バス協会へは苦情も相当量寄せられます。多くは担当者の態度が横柄というものですが、幸いにして当SCへの苦情はここ数年ありません。約30人の当SCの担当者は全員、丁寧な対応に努め、慣れない書類の説明も辛抱強く、円滑に審査・発行を進めることができました。日野市内ではこの期間だけで、約1万2千枚発行しました。1日に1千枚を超える日もありましたが、目まぐるしい対応の中でもSC会員のさわやかな笑顔が印象的でした。

健康をサポート 「体力測定会」開催

安全管理委員会主催の体力測定会が、市健康課の支援を受け9月12・20日生活・保健センター3階集会所で実施されました。測定会は今年で3年目、毎年2回実施し通算6回目となりました。一般会員が対象で、今年は2日間で67人が参加しました。

握力、棒反応時間、長座体前屈、開眼片足立ち、椅子の座り立ちで体力を測定。各人が年齢別の基準と比較した結果で、総合的に評価を受けました。各回とも盛況のうちに無事終了しました。



椅子の座り立ち(脚の筋力)持久力テスト

なお、同センター内にある健康サポートルーム「輝(かがやき)」は市民のための健康増進施設で予約不要、専門スタッフによる健康相談、体力測定、バランスボール、マットトレーニング、ダンベル、ランニングマシンのメニューを無料で利用できます。

安全大会(平成30年度)

東京都シルバー人材センター連合

9月28日(金)東京しごとセンターで都内各区市町村の会員代表及び関係機関代表者約180人程の出席者で安全大会が開かれ、平成29年度安全就業優良SCとして渋谷区、豊島区、国分寺市及び羽村市が表彰されました。

平成30年度の安全就業標語、応募3200点中、テーマ「健康の維持管理について」で当SCの足立忠弘さんが優秀賞を受賞しました。「足立氏の受賞作」

良い仕事 身体も心も健康で



足立氏の優秀賞を代理で受ける宮古委員長(右)

今年の講演は近年増加傾向にある転倒防止に関するものでした。

実録オレオレ詐欺

ある会員の体験談

9月20日(木)夕方、ある会員のところにオレオレ詐欺(振り込み)の電話がありました。

「おばちゃん?」という電話。電話に出たAさんは、湘南方面に甥が住んでいることから、甥と思ひ「〇〇君?」と応答。相手は翌日府中市に仕事で行くので昼ご飯と一緒に食べたいと言った。Aさんは「いいよ、それじゃ待っている」と返事。

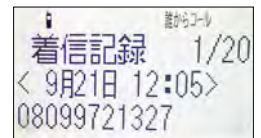
翌朝電話があり、「今朝分かったが同僚が自分の名をかたり300万円を仮想通貨購入で使い、必要になったので貸してほしい。借借書も書き、明日には返す」。同僚のことだったら会社の上司に相談したらと言ひ、電話を切ったが甥のことが心配。その後知っている甥の携帯に電話したが出ず。

正午前再び電話あり。「今はパニックになり頭が真っ白、母親に

日野市SC40周年記念式典

平成31年4月20日(土)

あと7カ月



といつて電話を切った。

Aさんは夫と相談。夫は「いきなり300万円と言っても大金。明日は土曜日、返すと言ってもどう工面するのだろう。とにかく電話ではダメだ。我が家に来るように言おう」と、銀行に借金に行くというAさんを止めた。

15時過ぎ、再び電話。Aさんが「おじちゃんと相談した。とにかく一度我が家においで」と言ったとたんに電話はプチンと切れた。着信記録にある電話にこちらからかけても電源切断中との音声。甥の妻に電話が繋がったので尋ねると今日は九州に出張中。前日から巧妙に仕組まれた新たな手口?。次はあなたかも。

市実施の特定健診、いきいき健診は無料で受診できます

★各種がん検診、肝炎ウィルス検診等については市健康課にお問い合わせください。

☎042(581)4111